

○ 問題点

～ピアに関して～

- ① 修正してもらう相手は自分よりレベルが上の人か同じレベルの人がよい。
- ② 自己修正は時間をおくことに効果があるか？
- ③ ピアの人数は何人かいた方がよい。

○ 提案

レベル：N3くらい

人数：20人(4人/グループ)

コマ：100分(2コマ)

-
- ① できた作文を発表。(各グループから)
 - ② グループのメンバーと修正し合う。
 - ③ 意見を参考に作文を再修正。
 - ④ 1週間後自己修正したものを先生に提出。
 - ⑤ 教師は非明示的に修正したものを学生に渡し自己修正の箇所を確認させる。

授業のやり方は？

教師の意識改革
+
学習者の意識改革

教師の役割

母語教育の重要性

学習者の組み合わせが難しい

魚を与えるのではなく
釣りを教える

学習の仕方を教える

コア

学習者主体の教育

自己修正ができてきた

自己修正の
所だけ
添削する
のでは不
充分では？

教師の添削
はどの範囲
まで？

自己修正に
90分では短い！

50分使って
修正させた

効果
はあるか？

非明示的訂正の
方が効果がある

学習者は
人に聞きた
がる

間違いを
教える

母に優秀な
学生が
できたら

学習者主体

マンガ
感想文
アニメ

F B
模範
作文を
写せる

日記

旅行記

慣用句
成語

動機

擬態語
擬声語
音

興味のある
テーマ

常用誤用
例は教師が
支援

ぜひきっと
必ず絶対

課題・問題点

- ① 学生数が多い
30名 ~ 50名
- ② 授業時間の制限
週2時間
- ③ 採点, 評価

提案

学生の^{ 訳した }作文を
みんな~~に~~に見せる

学生者主体

みんなですべて添削を行う

他山之石
可以攻錯

1. 教師の添削の効果は

Oに近しい?

2. 発話思考はむずかしい

課題作文の提出直前に朗読

即時自己修正

~~言葉~~

~~文法~~

~~~~~

よびかた?

3. 教師半明示的記号

4. 5~6人のグループで1人の作文を修正

間差には番号をつけて. 教師に提出  
ピア修正の作文を手本としておのれ自己修正

5. 30% 低  
70% 高

平均 50%

学習者レベル: N3くらい

(大学2年生)

下地作り

- 作文の授業、で教師が修正しないとかダメという
- 作文じゃなく「文」から練習させる。語彙 → 文法の先入観。
- ピン: できる子とできない子の違い。導入。
- 直せないところ: 母語の習慣と関係あるかも。
- 先生に頼りすぎ傾向が。教科書を真似しないといけない。

N2くらい

(大学3年生)

- ~~前期~~<sup>2年</sup>: 教師が直す
- ~~後期~~<sup>3年</sup>: 自己修正
- 修正の後のチェックに要する時間がない。
- 修正する所の範囲は? (既習: 未習?)
- 授業を「作文」、「会話」などに分けるのは
- 母語ですらうまく作文が書けない子も。

• EOP修正は、学生が  
やりたがらない

(日本語能力の差、性格が  
合わない)

• 自己修正は無理(初級)

おかしいところ、ここも

~~訂~~訂正できない  
言いたくもない

→ 初級者には非明示で

正しい答えの選択肢を  
与える

• 非明示で~~訂~~訂正し、

学生に自己訂正させる

1. 自己修正
2. 教師による非明示的誤用訂正
3. 自己修正
4. グループ討論
5. 教師による最終修正